

2024年度 ニチキッズつしま新野保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025年1月6日（月）～1月24日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月3日（月）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	子どもも職員も一緒におもいっきり遊び、楽しむ事が出来る保育を計画・実践した。日々の保育を振り返り、評価・反省、実施を繰り返し保育の質の向上を図りたい。
子どもの発達援助	クラスの状況、個別の発達段階に合わせたきめ細やかな援助を行った。職員同士しっかり話し合い、共通理解のもと、子どもに寄り添った丁寧な関りを継続していく。
保護者に対する支援	送迎時やコドモン（連絡帳）を活用し子どもの様子を把握し、保護者の思いに耳を傾けながら子育て支援を継続し、日々のコミュニケーションを大切に、相談しやすい雰囲気づくりに努めていく。
保育を支える組織的基盤	園内研修・15分ミーティング・職員会議など定期的に全職員で話し合い、環境構成や危機管理など安心・安全な保育の改善を図る体制を構築した。積極的に外部研修を受講し、さらなる保育の質の向上を目指して、職員一人ひとりの資質向上と自己研鑽などの意識付けに努めていく。

総評
「保育園って楽しいな・先生大好きだな」と思う事が出来る、子どもを中心とした保育ができるよう努め、今後も子どもと職員がわくわく遊べる保育実践を継続することが必要と言える。 子ども・保護者一人ひとりに寄り添い、それぞれの思いに耳を傾け、保育者一人ひとりが真摯な対応と責任感と理解を深めた関係と関わりを築くことが課題である。 また、職員間のコミュニケーションを密にとりながら、子どもの発達を捉えると共に、保育のPDCAサイクルを実践していきたい。